

『竹取物語』絵巻・絵入り写本・絵入り版本等の寄贈にあたって

——立教大学図書館蔵（小嶋旧蔵）目録

小嶋 菜温子
青木 慎一

一 立教大学図書館への寄贈の報告

この度わたくし 小嶋 が二〇一七年三月をもって退職するにあたり、一六年間の在職中に蒐集したささやかな架蔵本を立教大学図書館に寄贈することにしたので、それについて簡単に報告する。寄贈の中心は『竹取物語』の絵画資料である。

立教大学図書館・貴重書庫にはすでに「竹取物語絵巻」をはじめとして、竹取物語 貼交屏風、古活字版の古活字十行甲本（第一種本）『竹取物語』等が所蔵されている。古活字十行甲本（第一種本）は現存の確認例が稀少であり、書誌学上の価値がきわめて高いことは知られている。いっぽう絵画資料の「竹取物語絵巻」は後述のとおり優品であり、また「竹取物語 貼交屏風」も国内外での確認例は限られており貴重である（ただし立教本も含めて、国内で三例ほどしか見ない屏風の作例はいずれも、もともと絵入り写本の絵であったものを、屏風に貼り直したもののようである）。

絵巻については一般的に、絵入り写本にまして豪華であり、資

料的な価値とともに美術品としての価値も高いとされる。「竹取物語絵巻」の現存遺品数は多くないが、現在までに約三十本が国内外で確認されている。それらのなかで立教本「竹取物語絵巻」は、アイルランドのチェスタービーティー・ライブライ本と、国学院大学図書館蔵本のうちの一本と同じ工房製作のものと思われる優品である。

さて今回の寄贈にかかる小嶋旧蔵本（計十点）の内訳は、絵巻（二点）・絵入り写本（四点）・絵入り版本（四点）である。これらのうち、絵巻「竹とり物語」は伝徳川斉昭旧蔵で、箱には「後樂園」の印がある（絵巻自体はいわゆる奈良絵本風の仕立てで、徳川の注文製作にかかるものではなく、献上本の類かと思われる）。いっぽうの絵入り写本「竹とり物語」のうちには、優品も含まれる。「竹取物語」の絵入り写本の現存遺品も多くはないが、現在までに三十数例が国内外で確認されている。それらのなかで、今回寄贈の絵入り写本「竹とり物語」（小嶋旧蔵 甲本・乙本・丙本・丁本）のうち、とりわけ甲本・乙本は質が高く、また丁本も異色の趣がある。これらを中心に、寄贈本に関する詳しい研究が俟たれるところである。ついては、拙稿を参照されたい。

小嶋菜温子「竹取物語絵」にみる異界と現世——CB
L本・立教本、「不死の葉の献上」図をめぐって」（高橋亨編『王朝文学と物語絵』
竹林舎 二〇一〇年）

また、『竹取物語』の絵巻・絵入り写本・絵入り版本等の伝本情報については、曾根誠一氏による次の論考を参照されたい。

曾根誠一 『竹取物語』の絵画の世界（『知の遺産』）

竹取物語の新世界』武蔵野書院 二〇一五年三月）

曾根誠一 『竹取物語』奈良絵本・絵巻の伝本』『花園』

大学文学部研究紀要 第四八号』二〇一六年三月）

以下に、寄贈本（十点）についての簡単な目録を付す（青木慎一氏作成）。立教大学図書館における、『竹取物語』をはじめとする日本古典文学の絵画資料コレクションが今後も拡充され、あわせてそれらの貴重資料についてのデジタル・ライブラリー化がさらに推進されることを願うものである。

*

最後になりましたが、今回の寄贈にあたり、鈴木彰氏・水谷隆之氏にご協力いただきましたと、小泉徹氏をはじめとする立教大学図書館各位にお世話様になりました。日本文学専修スタッフ諸氏はもとより、皆様に心より感謝申し上げます。（小嶋）

絵巻 二点

「竹とり物語」（小嶋旧蔵）

絵巻 三巻 全15図（上5・中5・下5図）

※伝徳川斉昭旧蔵・後楽園印有。

「御行幸」（小嶋旧蔵）

絵巻 三巻

※「寛永行幸図（巻）」（後水尾院行幸図（巻））

絵入り写本 四点

「竹とり物語」（小嶋旧蔵 甲本）

絵入り写本 三冊 全15図（一5・二5・三5図）

「竹とり」（小嶋旧蔵 乙本）

絵入り写本 二冊 全7図（上3・下4図）

※上の第二図は見開き。

「竹とり」（小嶋旧蔵 丙本）

絵入り写本 二冊 全11図（上5・下6図）

「竹とり物語」（小嶋旧蔵 丁本）

絵入り写本 三冊

※ただし、絵の部分は欠く。

二 寄贈目録（計十点）

〔絵入 竹とり物語〕（小嶋旧蔵）

版本 二冊 茨城多左衛門版

※本文への傍注および頭注有。また、上巻頭・下巻末に注記有。

〔絵入 竹とり物語〕（小嶋旧蔵）

版本 一冊 無刊記

※朱書きの頭注有。

〔絵入 竹とり物語〕（小嶋旧蔵）

版本 二冊 茨城多左衛門版 河内屋喜兵衛梓

※本文に朱の傍線有。

〔絵入 竹とり物語〕（小嶋旧蔵）

版本 一冊 茨城多左衛門版

※題箋に「正軒先生彩色本」とあり、挿絵に着色有。

（青木）